

## 目 次

I. 総合研究報告  
乳児～成人の好酸球性消化管疾患、良質な医療の確保を目指す診療提供  
体制構築のための研究 ----- 1

野村伊知郎 国立成育医療研究センター  
好酸球性消化管疾患研究室 室長

乳児～成人の好酸球性消化管疾患、良質な医療の確保を目指す診療提供  
体制構築のための研究 ----- 17  
山田佳之 東海大学医学部医学科総合診療学系小児科学 教授

II. 研究成果の刊行に関する一覧表 ----- 24

(資料)

資料 1 プレスリリース 好酸球性消化管疾患における症状の現れ方の大規模調査を実施（好酸球性胃腸炎では、5 歳～17 歳の小児期発症において「持続型」が 75%）

資料 2 上記プレスリリース発表論文（表紙のみ）好酸球性消化管疾患、全国調査論文 J Allergy Clin Immunol Pract. 2021

資料 3 論文（表紙のみ） 新生児期発症の食物蛋白誘発胃腸炎 臍帯血の好酸球が増加していた、すなわち、出生前に既に発症していることが推定された。Allergy International 2021

資料 4 プレスリリース 好酸球性胃腸炎の新規食事療法開発 現在食事療法の主力とされている 6 種食物除去で改善しなかった患者さんにも効果があった

資料 5 上記プレスリリースの発表論文（表紙のみ） Allergy International 2023

資料 6 論文（表紙のみ） 好酸球性胃腸炎のサブグループ名称決定国際会議、結果 Clinical Gastroenterology and Hepatology 2022;20:2474–2484

資料 7 プレスリリース 世界初の発見、重症好酸球増多症の患者さんで、STAT6 機能亢進遺伝子異常を特定

資料 8 上記プレスリリースの発表論文（表紙のみ） Journal of Allergy and Clinical Immunology 2023

資料 9 プレスリリース 日本初、消化管アレルギー嘔吐タイプのアクションプランを作成

資料 10 上記プレスリリースの発表論文（表紙のみ） World Allergy Organization Journal 2023

資料 11 論文（表紙のみ）食物蛋白誘発胃腸炎の経口食物負荷試験結果 Nutrients 2022

資料 12 論文(表紙のみ)食物蛋白誘発胃腸炎の発症リスク因子の同定 Clinical Experimental Allergy 2023

資料 13 朝日新聞デジタル記事（新聞記事を WEB 転載したもの）乳児の嘔吐、消化管アレルギーかも見つけにくく要注意

資料 14 たまひよ online (yahoo ニュースに転載されたもの、ヤフーコメント一部抜粋) 繰り返す嘔吐食物蛋白誘発胃腸症

資料 15 ひよこクラブ記事 子育てトピックス 食物蛋白誘発胃腸症

資料 16 毎日新聞記事 (WEB 転載) 乳児発症、謎のアレルギー 飲食後数時間以上たって嘔吐・血便 食べ物原因？薬効かず、近年増加

資料 17 時事メディカル記事 胸のつかえや胸焼け 診断が難しい好酸球性食道炎

資料 18 Medical Tribune 記事 好酸球性胃腸炎に「Rainbow 食事療法」を開発

資料 19 共同通信新聞記事 早い対処で成長の回復を 小児の好酸球性胃腸炎 薬剤多様化、治療が進歩

資料 20 Rainbow クッキング WEB サイトの内容説明

資料 21 好酸球性消化管疾患診療可能機関名（一部抜粋）

資料 22 食物蛋白誘発胃腸炎セカンドコホート WEB レジストリ概要